

2023 年度 小委員会活動成果報告

(2024 年 1 月 16 日作成)

小委員会名	CFT 構造計算規準小委員会		主査名：津田恵吾 就任年月：2023 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 (鋼コンクリート合成構造運営委員会)		委員長名：五十田博 (主査名：蜷川利彦)
設置期間	2021 年 4 月 ～ 2024 年 3 月		
設置目的 各年度活動計画 (箇条書き)	『コンクリート充填鋼管構造計算規準・同解説』を刊行する。 初年度：『コンクリート充填鋼管構造計算規準・同解説』の各章の執筆と審議を行う。年度末までに小委員会査読と査読意見を踏まえた修正を行う。 2 年度：運営委員会、構造本委員会での査読・査読対応および規準の脱稿。 3 年度：講習会を開催する。また、規準のメンテナンスを行う。		
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無		
	主査：津田恵吾 (北九州市立大学名誉教授) 幹事：福元敏之 (鹿島建設), 藤永 隆 (神戸大学) 委員：池田憲一 (東京理科大学), 伊藤倫夫 (センクシア), 荻野雅士 (日本設計), 河野昭彦 (九州大学名誉教授), 城戸將江 (北九州市立大学), 時野谷浩良 (大林組), 蜷川利彦 (九州大学), 藤本利昭 (日本大学), 松尾真太郎 (九州大学), 村松匡太 (鹿島建設)		
設置 WG (WG 名：目的)	—		
2023 年度予算	120,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス： —	

項目	自己評価
委員会開催数	5 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	—
講習会	—
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会承認企画	—
大会研究集会	—
対外的意見表明・パブリックコメント等	—
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 原稿作成の進捗が予定通りでなく、小委員会査読も行なえていない。
委員会活動の問題点・課題	1. 原稿が完成し審議が終わった部分もあるが、柱材の設計式や CFT 建物の設計例は、まだ原稿以前の内容を検討している状態で、予定通りの脱稿・刊行は困難な状況にある。